



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.9.26 No. 4851

JR東日本千葉支社

ダイヤ改の労働条件提案

9/24

千葉支社は、九月二四日、九八・一二ダイヤ改の労働条件について提案を行なってきた。

提案の内容は、東京から習志野運輸区への六八〇・七キロの業務移管をはじめ、内房線、総武本線の特急列車の一部区間の普通列車化と普通列車の削減、内房線、外房線の季節特急列車の一往復の臨時列車化、新宿発着の内房・外房線臨時特急列車の通年をととした土休日運転、総武緩行線及び総武快速線への新型列車の投入、外房線での快速列車の停車駅拡大、久留里線三往復の二両運転拡大とこれに伴う予備車の減等である。

これにより、習志野運輸区で運転士七名増となるほかは、列車キロで▲八三九・二キロというものである。

【提案された主な内容】

■東京から習志野運輸区への業務移管

総武緩行線 四五八・〇キロ
総武快速線 二一〇・二キロ

総体として六八〇・七キロの乗務キロ増となる。

■特急列車の一部普通列車化
内房線

三〇〇一M 君津↔館山間
三〇〇九M 君津↔館山間
三〇一六M 館山↔君津間

これに伴い、

上総湊↔館山間 (二二一M)
君津↔館山間 (二五九M)

館山↔君津間 (二二二M)
が削減となる。

総武本線

一〇〇五M 成東↔銚子間

一〇〇八M 銚子↔成東間
これに伴い、
成東↔銚子間 (三四九M)
銚子↔成東間 (三五八M)
が削減となる。

■内・外房線季節特急列車の臨時列車化

内房線・七〇一七M・七〇二四M
外房線・七〇六九M・七〇七六M
臨時列車として、ゴールデンウィーク等に運転する。

■新宿発着の内・外房線臨時特急列車の土休日運転

内房線・新宿さざなみ
外房線・新宿わかしお
通年の土曜休日に運転する。

■総武緩行線・総武快速線への新型列車の投入

総武緩行線 (十一月以降)
二〇九系車両を一〇〇両投入
習志野電車区・九編成
三鷹電車区・一編成

総武快速線 (一月以降)

二一七系車両を一五〇両投入
幕張電車区・三編成
大船電車区・七編成

■外房線快速列車の停車駅拡大
鎌取駅、土気駅へ快速列車全
てが停車。

■久留里線の二両運転の拡大
二両運転
木更津↔上総亀山間 三往復
予備車 ▲一両

■千葉駅構内での入換作業変更

ATS電源「切」で駅員の入換標識で行なっていた荷物電車の入換作業について、ATS電源「入」のまま、黒砂信号所まで引き上げて入換作業を行なう

要員関係については、東京から習志野運輸区への六八〇・七キロの業務移管にともない、習志野運輸区で運転士七名の要員増となる。

乗務キロについては、担当列車の変更により千葉運輸区が、ホームタウンの運用等により千葉運輸区がそれぞれ乗務キロ増

になる他は、鴨川運輸区、館山運輸区、銚子運輸区では軒並み乗務キロが減となっている。また、習志野電車区へ二〇九系車両九編成が投入されることに伴い、交番検査体制について現在検討中であることが明らかになった。

〈要員現改比較〉

区 所	職名	要員関係			内 容
		現行	改正	増減	
習志野運輸区	士職	71	78	7	東京からの業務移管

〈各区乗務キロ増減一覽〉

区 所	乗務キロ(km)	内 容
習志野運輸区	680.3	総武緩行線 458km 総武快速線 210.2km
千葉運輸区	72.1	鴨川灘区、銚子灘区との担当列車変更
京葉運輸区	21.8	ホームタウン運用、回送キロの増
鴨川運輸区	▲73.2	千葉転との担当列車変更
館山運輸区	▲106.8	特急列車の一部普通列車化による普通列車削減による (館山・銚子)
銚子運輸区	▲92.2	千葉転との担当列車変更 (銚子)

当面するスケジュール

● 動労千葉物販担当者会議
とき 一〇月一日 (木)
ところ 動力車会館

● 三里塚現地総決起集会
とき 一〇月十一日 (日)
ところ 三里塚現地

冬季物販の成功をかちとろう
集合 成田駅・改札口前
一〇時三〇分